



「肝線維化」の進行度を調べる検査が、新しくなりました。

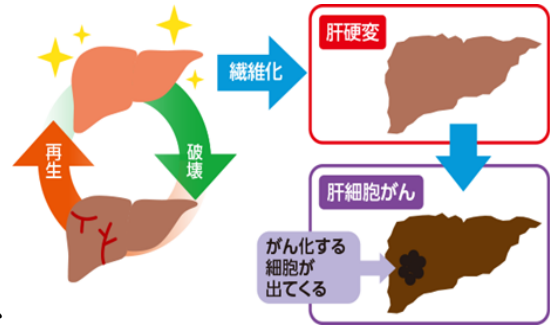
肝線維化検査 (FIB-4index + M2BPGi)

肝線維化とは？

肝臓内で結合組織が増加（線維化）することです。

肝臓が何らかの病気などに起因して傷害を負うと、炎症が起きます。肝臓が炎症を起こし、肝細胞が破壊された状態を肝炎といいます。この状態をなおすために再生しようとする体の機能が働きますが、破壊と再生を繰り返すと肝臓に線維化が起こります。自覚症状はほとんどありません。繊維の量がさらに増え続けると肝臓が硬くなってしまい、肝硬変になり、やがて肝細胞がんがでてきます。

そうなる前にご自身の肝臓の状態を知り、予防に努めましょう。



脂肪肝の方は肝線維化が生命予後に関連するとされています。肝疾患は病態がかなり進行するまで自覚症状があらわれません。「気がついたときにはかなり進行していた」とならないようにFIB-4index・M2BPGiで早期発見と経過観察をおこなうことをお勧めします。

• M2BPGi (Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体) とは？

肝線維化の進展につれて変化する蛋白質上の糖鎖構造をとらえるマーカーで、蛋白質の量的変化をとらえる従来の肝線維化マーカーと異なり、高感度かつ特異的な血液検査です。

• FIB-4index (フィブフォー・インデックス) とは？

血液検査と年齢を組み合わせで計算し、得られた数値から肝臓の線維化の進行度を評価するスコアリングシステムです。

このような方にお勧めします。

- 毎日お酒を飲んでいる
- 夜食や甘い物を良く食べる
- 肥満(メタボ)がある
- 脂肪肝と言われたことがある
- 糖尿病がある

